

1) システムの名称 :

周産期システム MapleNote (メイプルノート)

2) 対象業務、電子カルテシステム内での位置付け :

5. 画像検査系、11. 患者説明・情報開示系

3) 特色 :

周産期システム MapleNote は、周産期における母子の診療記録を一元管理しスムーズな診療をサポートするシステムです。妊婦健診経過の時系列参照機能やパルトグラム機能、助産録や分娩記録、出生証明書といった文書記載機能など周産期システムに必要な機能を搭載していることはもちろん、医療機関の運用フローに沿って画面を自由度高く構成できるのが特長で、産科医だけでなく様々な職種のスタッフが必要な情報を即座に把握することができます。

4) 画面／構成図を含めた分かりやすい説明 :

■ 医療機関の運用に合わせて自由度高く画面や書式を構成しスムーズに入力

簡単な設定で画面上に表示させる機能や入力画面の項目を変更することができます。書類についても、これまで使用してきた書式をそのまま MapleNote 上で作成し記載することができます。データ入力においては、電子カルテやエコー装置のデータを取り込んだり、書類へ引用したりすることでスムーズに記録することができます。

■ 他システムを組み合わせることで、高度な利用を実現

周産期システム MapleNote

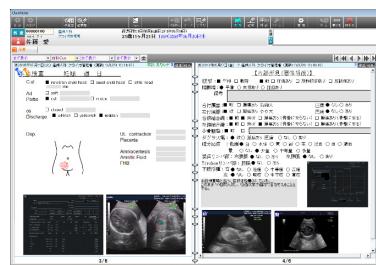
妊婦健診・パルトグラムなど、妊娠から出産直後のデータを一元管理

カルテ記事記載システム C-Note

ハイリスク妊婦が多い病院で、手術記録や日々の診療記事を詳細に記録

画像ファイリングシステム Clao

胎児エコーや経腔エコー、コルポなどの検査機器データをファイリング



■ 電子カルテ・エコー・分娩監視装置との連携

電子カルテ連携により、患者情報を記録に活用したり起動、結果送信を行います。超音波装置からは画像や DICOM SR 情報を取り込んだり、分娩監視装置からはレポートやバイタル情報連携、ビューア起動が行えます。



■ 主な機能

妊婦健診

前期・中期・後期、重症度に合わせたテンプレートを利用し入力を行います。エコー画像や DICOM SR で出力される胎児の計測情報、胎児の体位や胎盤の位置を記入したシェーマを利用して経過を時系列参照でき、母子手帳への記入を考慮したレイアウトへの変更も可能です。



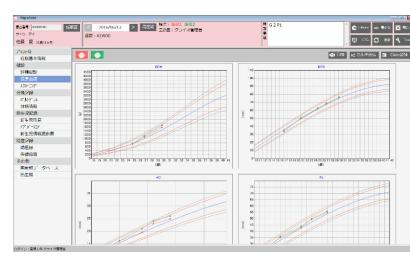
パルトグラム

分娩分類に従って入力項目を変更できます。所見を中心とした短冊表示や、子宮開大度、児頭下降度のグラフ参照など、医療機関の運用に合わせて設定できます。



成長曲線

JSUM 提供の基準値を利用し、胎児計測データから成長曲線を自動生成します。多胎児の場合にも SD 値を 1 つの成長曲線上に生成できます。



助産記録

アプガースコアからのデータ引用や、新生児SD値の自動計算により、効率的に助産記録を作成できます。修正や追記の履歴管理も行います。



アプガースコア

出生後、入力フォーマットを利用して、1分後・5分後・10分後のアプガースコアをスムーズに記録し助産録の記載へ利用することができます。



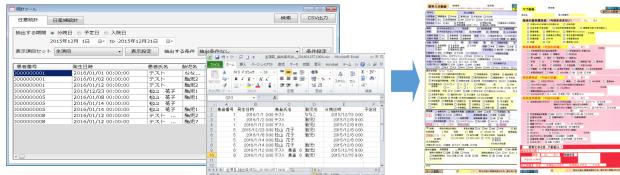
出生証明書などの文書作成

現在、紙で記載している出生証明書や保健指導カード、一ヶ月健診の文書を記載できます。医療機関の書式に合わせて新生児情報提供書なども作成できます。



統計機能

入力データは、簡単な操作で抽出条件を設定し出力することができます。日々の統計業務はもちろん、日本産婦人学会の行う周産期データベース統計にも対応しています。



5) 標準化への対応状況、未達成の場合対応予定および対応のための追加費用の有無 :

- HL7 形式による患者検索
- DICOM SR

6) 動作環境（ソフトの場合）、ハードスペック（ハードの場合）:

■サーバ構成

シングルサーバ構成（※必要に応じてウォームスタンバイ構成クラスタ構成、仮想環境）
オペレーティングシステム : Windows Server 2008 R2 Std, Windows Server 2012 R2 Std
DBMS : MicroSoft SQL Server 2012 Standard, MicroSoft SQL Server 2014 Standard
CPU : Intel® Xeon® Processor E5-2623 v3 (10M Cache, 4C/3.00 GHz) 以上
メインメモリ : 4GB 以上(推奨 8GB 以上)
HDD : 1TB(実行容量) 以上

■クライアント構成 ※電子カルテ相乗りを想定の為、推奨スペックを記載

オペレーティングシステム : Windows Vista, Windows 7, Windows 8.1, Windows10
CPU : Intel Pentium プロセッサー 以上
メインメモリ : 1GB 以上
画面解像度 : SXGA(1280×1024) 以上

7) 稼動までに必要な作業・期間 :

病院担当者様、電子カルテメーカー様、及びモダリティメーカー様と打合せ（5~6回程度）・通常 4~6か月程度

8) 価格（桁数（日本円における桁数）、「ご相談」は不可、桁数帯・金額・金額帯を入れても良い）:

ソフトウェア・導入作業費用 : 7~8 桁

9) 保守の内容と費用 :

■保守内容

対応内容 : 稼動時初期教育（オペレーション説明、マニュアル配布）、運用開始時立会い
障害発生時の電話サポート、リモート又はオンライン対応、毎月のログ確認
前提条件 : リモート接続可能な保守用 VPN 環境が有る場合

■保守費用

システム規模、保守内容によって異なります。

10) 問い合わせ先（販売会社 担当者、URL、e-mail 等）および開発元（もし別途あれば）:

株式会社ファインデックス（旧ピーエスシー） <http://findex.co.jp/>
東京本社 〒105-6133 東京都港区浜松町 2-4-1 世界貿易センタービル 33F TEL:03-5408-3745 FAX:03-5408-3744
松山本社 〒790-0003 愛媛県松山市三番町 4-9-6 NBF 松山日銀前ビル 11F TEL:089-947-3388 FAX:089-947-1133
大阪支店 〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜 2-6-18 淀屋橋スクエア 11F TEL:06-6220-1401 FAX:06-6220-1402

※弊社 HP のお問合せフォーム（医療システム・サービス）をご利用ください。

https://findex.co.jp/inquiry/inq_pro.html